

稲グリ新聞

〈発行〉
早大グリーンクラブOB会
稲門グリーンクラブ
〈編集〉
加藤 晴生 生 郎 豊 了
原 信 二 木 川
石 川 川
〒192-12武蔵村山市大南
2-26-12 藤原信二郎方
TEL (0425) 65-1839
(毎月1回発行)

財政基盤を見直すよう 「総会」に向けて

幹事長 加藤 晴生(三七)

早いもので、また総会／グリーン・スマスの季節となりました。本年初め、私達はいくつもの目標を掲げ、それに沿った活動をして来ましたが、前半は稲グリが幹事の四連と多忙な一年でした。お陰様で四連は演奏面で好評を博し、また採算面でも関係各団体に過去最高の分配金となり、大成功でした。また、名簿の改訂版や愛唱歌集の発行作業も着々と進み、十二月の総会に間に合う段取りとなりました。稲グリ会費納入会員の増加、特に若手メンバーの増強については、今後とも地道に努力を重ねていかねばならない重要な課題です。これら稲グリの日常活動における大先輩から若手に至るまでのチームワークの素晴らしさに謝し、強い感動を受けました。

年会費値上げについて
十二月三日の総会では別掲の通り本年度の活動総括と新年度の方針が討議されましたが、重要な議題の一つとして既報の通り八月の幹事会決定に基づく年会費の値上げが提案されました。ご承知の通り、稲グリの経常収支は長年に亘り大幅な赤字であり、この赤字を演奏会活動で補って来ております。このことは稲グリの現状から見て止むを得ないと思っておりますが、やはり健全なOB会の運営という点から見て不自然といわざるを得ず、わずかながらともこの実状を是正

総会の招集

会員各位殿

平成元年度早稲田大学グリーンクラブOB会、稲門グリーンクラブの「総会」を次の通り開きますので、ご出席下さい。

平成元年11月5日
会長 福井 忠雄(29)

記

- 日時 平成元年12月3日(日) 午後2時～
 - 会場 私学会館「赤城の間」(5F)
 - 議題 ①平成元年度・活動総括
② 同 ・会計について
③平成2年度・役員改選
④ 同 ・活動方針
⑤その他
- 以上

【OB会「会費値上げ案」】

A会員＝年 20,000円(現行12,000円)
B会員＝年 5,000円(現行3,000円)

稲グリ 活動日程(89 後期)

- 11月7日(火) 東混練習場 18:30~21:00 ニグロ他(ソ連曲)
- 11日(土) 特ステ「神奈川県校友大会」出演(鎌倉)
- 14日(火) 東混練習場 18:30~21:00 筑後川(マリオン曲)
- 《18日(土)「拡大幹事会」18:00~21:00 福井邸》
- 21日(火) 東混練習場 18:30~21:00 筑後川
- 23日(祝) 奉仕園(大) 13:00~17:00 〃(三団合同)
- 28日(火) 東混練習場 18:30~21:00 ニグロ他
- 12月3日(日) 「平成元年度・総会」 私学会館
「第8回グリーンクリスマス」
- 5日(火) 東混練習場 18:30~21:00 ニグロ他
- 12日(火) マリオン 19:00~21:00 筑後川(合同)
- 16日(土) 「コーラス・イン・マリオン」出演
稲グリ、桜楓、桜友ジョイント
終了後「1989年度打上げパーティー」
有楽町・朝日ホール
- 平成2年度
1月9日(火) 東混練習場 18:30~20:00 練習始め
20:00~「新年会」庄

したいと考える次第です。一方、現執行部はOB会の拡大発展の方針をとっており、この為の資金面の充実を図る必要があります。この秋は従来になく多くの特ステを取りました。これは、校友会及びチャリティ関係のステーションは積極的に参加するの基本方針に基づくものですが、併せて今年もソ連演奏旅行の準備金捻出の目的もありました。メンバー各位には時間的、物理的負担が増し、何かと苦労をおかけいたしました。これは一方、これ以外に良い方法が見つけられなかったこともご理解頂きたいと思っております。

以上を申す述べましたが、皆様方には是非稲グリの財政状況をご理解頂き、来る総会において会費値上げ案をご承認下さいますようお願い申し上げます。

「あつという間にクリスマス」

第8回グリーンクリ実行委員長
永井 秀夫(四二)

年をとったせいかな一年がやたら短く感じます。激動の平成元年もやがてグリーンクリスマスで幕を閉じようとしております。

「ぼく演奏会はいいけどクリスマスには絶対行くんだ」こんなことを言う人がいます。昨年の福引き大会で高級自転車を射止めた私の中にセガレです。文化祭で合唱の棒を振るらしいから歌もまんざら嫌いじゃなさそうだが、どうも私とはフィーリングが合わないらしい。愚妻に至っては「今度のハイソの演奏会いつかしら?」これじゃ稲グリの一員としての私

の立場が無い。さて、年に一度のクリスマス、今年もパツといきましょ。フーリングや価値観の違いもこの際まとめて面倒みちやいます。御家族でどうぞ。「あの人誰だっけ?」そんな懐かしい人が嬉しいのです。毎度のお願いですが、沢山のプレゼントをお待ちしています。予め左記へお送りいただければ幸いです。収納スペースは十二分にあります。今年は一いつオークションを派手にやりたいと考えておりますので、金目のものもよろしく(???)。

それでは十二月三日(日)午後四時、私学会館でお会いしましょう。

第8回グリーンクリスマス ご案内

- ☆日時 平成元年12月3日(日) 午後4時～7時
- ☆会場 私学会館 ☎03-261-9921 (千代田九段北4-2-25 市ヶ谷駅すぐ)
- ☆会費 A券 10,000円(52年卒以前のOB)
B券 7,000円(53年卒以降のOB)
C券 3,000円(家族、知人等)
- ☆主催 早大グリーンOB会・稲門グリーンクラブ (チケットは、各年度幹事又はグリーンクリ委員会へ)



☎0423-1
八二一〇四〇四
永井 秀夫
一八四 小金井市前原町
五一三二二

今年の「マリオン」も楽しくまいりましょう

岡村喬生さんの飛び入り出演があるかも……

担当マネージャー 石川 了(六一)

年末、朝日ホールでの、チャリティー・コンサート「コーラス・イン・マリオン」のステージ内容が左掲の通りです。出演の三団体が自らの紹介がてら順次一曲ずつ歌います。Ⅰステは、山本健二さん(三一)の指揮で、三団合同の混声合唱組曲「筑後川」を本格演奏します。Ⅱステは、山本正洋さん(五七)の指揮で、山本正洋さん(五七)の指揮で会場のお客様を中心にして「みんなであうたおう」という内容になります。Ⅲステは、山本正洋さん(五七)の指揮で、山本正洋さん(五七)の指揮で会場のお客様を中心にして「みんなであうたおう」という内容になります。また、このステージの第二部に……

コーラス・イン・マリオン

1989年12月16日(土)午後6時
有楽町朝日ホール(JR有楽町駅前マリオン11階)
入場料(全席自由) 1500円

I 各団の演奏と紹介

- 桜楓合唱団(日本女子大学合唱団OG)
桜友女声合唱団(共立女子大学合唱団OG)
稲門グリークラブ(早稲田大学グリークラブOB) (*順不同)

II 三団体合同演奏

混声合唱組曲「筑後川」 作曲: 団 伊玖磨
指揮: 山本 健二

III 「みんなであうたおう」

- 指揮: 山本 正洋
第一部 <なつかしの名曲集>
フニクリ・フニクラ / 夢路より / おおスザンナ
エーデルワイス / ともしび
第二部 <よろこびの歌> (予定) ~ バス歌手岡村喬生とともに
第三部 <クリスマス・キャロル集>
赤鼻のトナカイ(サンタクロースと子供たち)
ジングルベル / サンタが街にやってくる
ホワイトクリスマス / きよしこの夜

主催: 朝日新聞社 後援: 朝日新聞東京厚生文化事業団

ソビエト演奏旅行

締切り十二月三日(総会当日)

若手諸君参加申込みは「すぐに」

担当マネージャー 安斎 真治(四七)

来年四月末からのゴールデンウィークに予定しているソビエト演奏旅行は、この十二月から年初にかけて先方の全ソ音協との契約を前に、現在詰めを行っているところですが、そちらの参加メンバーの確定をしなければならぬ段階に入ってきました。現在の参加予定者は左表の通りで計一〇五名と取っています。……

自宅 ☎一五二一 東京都目黒区柿の木坂二丁目二〇一六〇二
勤務先 ☎三三七一 八二二八三六 (財)ヤマハ音楽振興会 東京支部
参加の場合は次の事項をご連絡下さい。↓(氏名・卒年・パート・住所・TEL)

90稲グリ・訪ソ親善演奏旅行参加メンバー

Table with 4 columns: 総勢105名, 指揮者 堀俊輔, ピアニスト 35名, メンバー 68名. Lists names and ages for groups T I, T II, B I, B II.

'89.11.1 駐 *印=家族同伴

神奈川校友会特ステ

十一月十一日(土) 午後三時 現地集合

会場 鶴ヶ岡会館(鎌倉駅すぐ)
服装 稲グリユニフォーム

稲グリ「愛唱歌集」のこと

稲グリ愛唱歌集「ソング・オブ・ワセダ」の編集作業は、現在川元啓司さん(五六)のもとで鋭意進められており、今総会までには何とか全二〇〇曲のうちの第一分冊(五〇曲)の発刊が間に合いそうである。(B5・上製本)
稲木委員長、川元さん他に多謝!!

「OB名簿」改訂版のこと

「総会」目指して玉崎さん(二七)が目下奮闘中。間もなくゲラが上がり、各年度幹事のもとへ郵送される予定となっております。受け取ったら直ちに赤を入れて玉崎さん宛返送という段取り。乞ご協力!!

出席記録 (特ステ)

Table with 5 columns: 10/17, 21, 22, 24, 31. Rows for T1, T2, B1, B2, and totals.

【ハミダシ情報】十月二十二日、ホームカミングデー招待学年(四〇)の迫秀一郎さんより、御自身が現役の頃のプログラム冊子等を多数受領。現役・OBいずれかの記録資料として使う予定です。感謝!

開催: 祈御多幸
十一月四日に都内で披露パーティー

稲 グリ 秋の「特ステ」二題

海部総理と「紺碧」を歌うの記

— 早大校友会特ステ(十月二十二日)大隈庭園 —

校友会特ステ担当マネ 長尾 要(二四)



稲グリ立ち会いのもと西原総長より
海部総理「早稲」を贈呈。

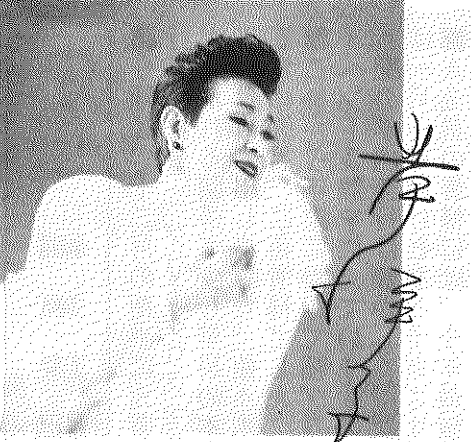
午後一時二十分、大隈庭園特設ステージ上にスタンバイする。待つこと数分、我々の前へ多くのテレビや報道陣、それに大勢のS・Pに囲まれながら西原総長の案内で海部総理が現れた。小柄だ。ステージ上の我々に向かって手を振る。我々は拍手で迎える。一団となった人の塊が書院の方に動いてゆく……数刻……ステージの前はカメラマンで一杯だ。再び総理が現れて、ステージに上がるときを狙ってテレビカメラがローに位置している。その前を校友が一人カメラを持って塞いでしまった。カメラマンが校友の肩を叩いてどけという。校友は少し体をどかした。が振り向いてカメラマンをにらむ。カメラマンもにらみ返す。しばし



稲グリ初体験！各局報道陣のカメラを囲んで、総理を囲んで「コンペキ」を歌うの図。このバックアップは、四、五秒の放映を確保する。

にらみ合い。これは面白かった。我々の拍手の中、海部さんがステージに上がり、庭園一杯の校友に両手を握り、高く振って応える。若い！サイドベンツの紺のスーツ。大分着馴染んだ背広だ。誠実に見える。一曲(くせ)も二曲もある。歴代の首相を見慣れた目には、人柄はずいっと良さそうだった。記念品

「愛の讃歌」の後、幕が下りてくる間に「チェイサー」に乗って岸洋子さんを囲むように整列。アンコールとして何とアカペラで「希望」を歌う、という内容の二日公演。初日(十月二十一日)は、ステ練で歌い出しを誤ったり、岸さんや一緒に流されるテープと稲グリのリテンポが合わず、スタッフ・出演者共ハラハラしたが、楽屋での自主練や十番の居直りにより、本番は見事成功。翌二十二日も多少メンバーの変動こそあれ、校友会特ステの勢いも手伝ってか更に良い出来栄え。聴衆も良い男だけを集めた？コーラスを満喫したものと同自画自賛。この場を借りて、岸さんは勿論、マネジメントでお世話になった制作の太田良紀さん、演奏会後の飲み会までお付き合い下さった構成・演出の和田誠さん、同じく練習・本番を通じ懸命に指揮して下さいました音響担当の佐山雅弘さんほか関係各位に厚く御礼申し上げます。またヨロシク！



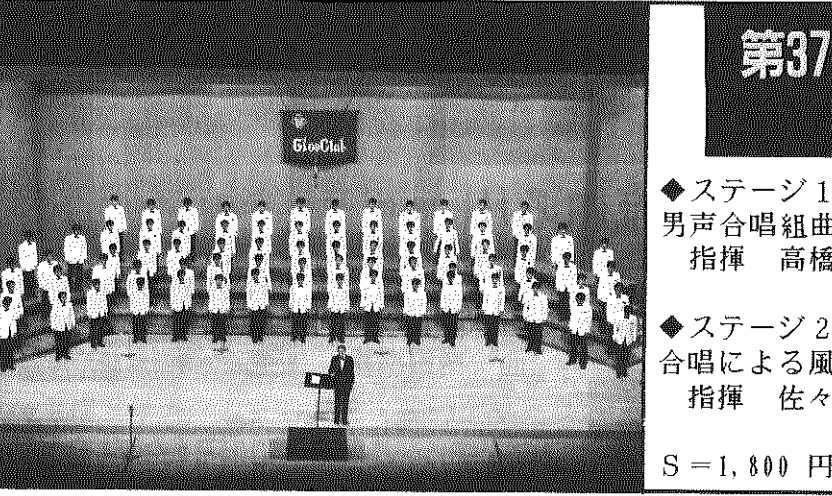
岸洋子リサイタル89
平成元年十月二十日
ゆうゆうと
岸洋子
岸音楽事務所

楽しかった「岸洋子リサイタル」出演
校友会特ステと掛け持ち、メンバー諸兄ご苦労様でした！

の贈呈があった後、司会者が「総理！グリーンクラブの人達と「紺碧」の空」を歌ってくれませんか？」と言う。打ち合わせ通りここで有無を言わせぬ盛大な拍手をする。総理が総理を中に校友会の石黒氏と肩を組む。阿部滋君(五七)が音程を三度下げて振るユニゾンの「紺碧」がカメラ陣の放列の中、高々と大隈庭園にこだました。総理の去った後、改めて我々のステージとなる。雨がポツポツ落ちてきた。最後の、正調コーラスでの「紺碧」は阿部君が気を利かせて駆け足してくれただけ(？)。今夜のニュースは見逃せない。テレビのほとんどの局が来ていたと思う。こうして「総理と「紺碧」を

歌う」の一幕は無事終わった。皆さん大変お疲れさまでした。特に、昨夜に続いてこの後の「岸洋子リサイタル」特ステとの時間調整など、大変だったマネジャー諸君に感謝！

なお、当日の校友会側から、来年も是非お願いしたいが、何とか「人生劇場」を曲の中に加えてくれないか、「第二の校歌」として希望者が多いので是非考えて下さいとのこと。更に、後日連絡があり、「いつものお札のギャラCジューですが、今回は色々ご面倒をかけたのでC・Gで振り込みました」とのこと！やはり来年は「人生劇場」を覚悟せざるばなるまい。(完)



第37回早稲田大学グリーンクラブ定期演奏会
1989年11月26日(日)東京厚生年金会館
開場：午後4時00分 開演：午後5時00分

- ◆ステージ1
男声合唱組曲「尾崎喜八の詩から」
指揮 高橋 弘行(学生)
- ◆ステージ2
合唱による風土記「阿波」
指揮 佐々木 修
- ◆ステージ3
ミュージカル
「メリーポピンズ」
指揮 高橋 弘行
- ◆ステージ4
「ヨハン・シュトラウス
オリジナル男声合唱曲集」
指揮 福永 陽一郎

S=1,800円(指定) A=1,200円(自由) 現役事務所 ☎03-208-4100

【ハミダシ情報】「コンカルアオグモ」のこと。大隈庭園特設ステージ上、T、関口さん(三七・仮名)は「コンペキ」と出たところ、曲はなんと「青雲」！。したがって、「コンカル アーオグモ」となり、前列の正木さん(四二)は、「???」。

【ハミダシ情報】岸洋子リサイタルの初日の楽屋。配られた豪華弁当をさあ食べようとした瞬間、B・M辺さん(三三)が自分の弁当を見事に床にブチまけて全員「アーア」。悲嘆の輪は楽屋全体を覆い、食いモノのウラミの恐ろしさを見る思いであった。

大阪 稲グリ だより

コンクール(十月十五)のことは忘れて頑張ってますー!

B₂ 阿部 良行(四一)

夜、浅野(五二)から細かい声の電話が来た。「言いたくないでまだ藤野指揮者に言うて八んのやけど、順位表の紙に大阪稲門の文字が見当らんのですワ、よう見たら十五位つけた審査員が一人、あとは間かん下さい!」

舞台の袖で合唱連盟の古い理事達が絶賛。「さすがトーマンはん! エ工音デナナ! シルバーハイモニーの応援団からエール、坪井内蔵助が待つ、神波ずし、へ意気揚々と引き揚げた面々の打上げは大変な大騒ぎとなり、「全国大会は金かかるから

辞退しよう」と満場一致の議決で幕とまあ五時間前に盛り上がりすぎてしまつて今回ばかりは少々ショックの浅野くん、それでも人数減らしてAグループ入賞をねらつた多くのセコイ合唱団に押し出されたマバインクル向の選曲ではなかったマバインクル持ったのがワザワイ、などと肝心の演奏には触れずに分析するところなんぞは大阪稲門の鏡、結局今回初めて会長が歌わなかったからだということにしてコンクール始末記もめでたくおさまつた次第? 以下は資金不足に悩む大阪の特ス

阿部滋さん(五七)がご婚約

取材、十月三十一日(火) 庄や四谷三丁目店にて

広報担当マネ 佐々木 豊(五九)

本紙の来年の訪ソ予定メンバー一覧のところを注意深く読むと、前号と今号の間でベースの阿部滋さんの名の前に「同伴者一名あり」を示す・が付くという変化があったことがわかる。賢明な読者なら彼が婚約したのであると察知してほしい!

お相手は三浦千代さんとおっしゃり八つ年下とのこと。二人は千葉県立国府台高校の先輩後輩の間柄。たまたま阿部さんのこの高校時代の恩師であり現在は同県立国分高校の上司でもある某先生のもとで鉢合せした形、縁は不思議なものである。



阿部の三浦千代さん

来年の二月十日(土)、グリスマスでお馴染みの私学会館において挙式・披露宴の予定。ハネムーンは勿論、旅行がもう一度ソ連でアツアツぶりを稲グリメンに見せつけて楽しむ腹らしい。チッキョーッ!

いや、しかし本当によかった。何か胸のつかえが取れたような気持ちである。おそらくは学校ではPTAに叩かれ、世話のやける高校生に数学とブラバンの指導を施し、やっとの思いで稲グリに練習場に遅刻気味に駆け込めばすぐピアノ伴奏を強要され、居並ぶ先輩達にやれ音が違うの、しっかり弾けのとやられるのだから、あの巨体を小さくしている様は後輩の筆者の目にはいつも涙でぼやけていたものである。結婚はそんな彼にとつて最高かつ唯一の救い。佐藤公俊さん(四八)に次ぐ昭和から平成にかけての文字通りの大物成婚に稲グリは今沸き立つのだ!

【ハミダシ情報】「全国童謡歌唱コンクール」(日本童謡協会等主催)が十一月三日、五反田ゆうぼうとて開かれ、大阪稲グリ阿部さん(四一)の次女未奈子ちゃん(中一)と奥さんの和子さんがファミリー部門でグランプリ受賞!

テ攻勢! 十二月八日、日航ホテルでのロータリークラブでステーション同十六日、MIDシアターでの紳士服業界クリスマスと来て、同二十三日は何とキンキラキンの会場で梅田玉姫殿でのクリスマスパーティーを豪華にブチ上げる。今年も田村組員(三九)が自らマネージし、人集め・金集め、オークションの品集めまで全てドスの効いた超大型スケールで行われる模様。参加しないメンバーは消されること必至と思われる。



編集後記

今号は、十二月の前半に大事な行事「総会」がグリークリスマスが開かれる関係で少し早目の本日五日付けで出しました。佐々木、石川の両君、ご苦労様でした。

これから年末にかけて稲グリもイベント多数を控えていますので新聞の年内発行は難かしく、次号は一月一日付けとなる予定です。

A会員の皆様には、今年最後の元気を! B会員の皆様には来年も稲グリをよろしく見守って下さい。それでは。

(S)

大阪稲グリ・山路さん(三三)が来春も頑張ります

脚本の他、劇中歌十五、六曲を作詩!



この物語は「浄い恋」を描くことにある。恋の求道者、殉教者としての純情な男の愛——そんなものは、この世に存在しないと嘲笑される方にもせひこのラブストーリーを、ご覧いただきたいと願っています。

山路洋平

越前新存公演東宝芸能提携

おさんご車衛

脚本 山路洋平
演出 高橋悠治

若葉ひろみ
瀬川内美八

1月4日(木) - 25日(木)
入場料: 5,200円(全席指定)

MITSUKOSHI
三越劇場 日本橋三越本店6階
電話/03-241-3311(大代表)

桜楓合唱団第20回定期演奏会

委嘱作品を集めて

女声合唱とコンピュータのために

七五讚 '89年《初演》 詩 矢川澄子 曲 高橋悠治
特別出演 シンセサイザー **高橋悠治**

三つの夜想 '85年 詩 村松英子 曲 三善 晃
賛助出演 日本女子大学合唱団

いつも風 流れる川 '86年 詩 宗 左近 曲 林 光

秋来ぬと (梁塵秘抄より) '88年 曲 柴田南雄

指揮 **田中信昭**
ピアノ **田中瑤子**

11月19日(日)/新宿文化センター 開場 午後1時30分/開演 2時/チケット 1,500円(全席自由)